

受付欄

工事監理報告書

年 月 日

(あて先) 鎌倉市建築主事

工事監理者()建築士 ()登録 号
 ()建築士事務所()登録 号
 建築士事務所名

住所.....

氏名.....

工事施工者 建設業の許可〔知事・大臣〕 第 号

住所.....

氏名.....

次のとおり報告します。

確認年月日及び番号	年 月 日 第 号		
建築主住所・氏名			
建築場所	鎌倉市		
建築物名称			
工事期間	年 月 日～ 年 月 日		
建築物の概要	主要用途		工事種別
	建築面積	m ²	延べ面積
	構造規模	造 地上 階、地下 階	
報告事項	特定工程までの工事についての工事監理の状況について 別紙建築基準法第12条5項の規定に基づく報告書（中間検査の申請に関する工事状況について）参照		
上記のとおり確認しました。			
建築主事(課長等)	建築主事(係長等)	担当	担当者
			供覧
			閱了

(注) 太枠の枠内のみ必要事項を記入し、該当する項目は○で囲んでください。

●建築基準法第12条第5項の規定に基づくによる報告書

中間検査の申請に関する工事状況について

【注意事項：RC・PC造及びS・SRC造】

- ① RC・PC造及びS・SRC造でチェックリストが異なりますので、該当するチェックリストを利用して下さい。
- ② 照合結果は、適・不適・該当無のいずれかに○をしてください。また、工事施工者が注意に従わずに申請書通りの施工がなされていない場合には不適に○をしてください。その場合には報告事項の備考欄に建築主に行った報告の内容を記載してください。
- ③ 杭工事で偏心が生じ基礎・地中梁等について変更がある場合は、変更有に○をして検討内容を別途報告してください。
- ④ 工程の都合上、未施工、未検査となる部分（例：コンクリート強度試験）がある場合は、未施工・未検査部分について記載し工事完了時まで別途工事監理報告をしてください。
- ⑤ 既に施工が終了して隠蔽されている等、中間検査時に確認できない部分（鉄筋コンクリートの基礎の配筋等）については、別途当該部分を撮影した写真の提出が必要になります。
- ⑥ 中間検査チェックリストの照合内容で、申請図書と変更がある場合は市と事前に協議を行い、必要な手続きを行ってください。また、照合内容で不適に該当し、建築基準関係規定に適合しない場合は、中間検査が合格とならないので十分に工事監理を行ってください。

建築基準法第 12 条第 5 項の規定に基づくによる報告書

中間検査の申請に関する工事状況について（RC・PC造）

（あて先） 鎌倉市建築主事

今回中間検査を申請する建築物の特定工程までの工事については、適切に工事監理を行い建築基準関係規定について確認していますので報告します。

特定工程までの工事監理の状況（中間検査チェックリスト）：RC・PC造用

確認を行った事項		照 合 内 容		照 合 結 果
意匠	確認表示板等 (法 89 条)	1	確認表示板の掲出等	適 ・ 不適
	敷地の衛生 及び安全性 (法 19 条)	2	敷地の高低差の確認	適 ・ 不適
		3	がけに対する安全性	適 ・ 不適 ・ 該当無
		4	既設擁壁の安全性	適 ・ 不適 ・ 該当無
		5	新設擁壁の安全性	適 ・ 不適 ・ 該当無
	敷地と道路の関係 (法 42 条) (法 43 条)	6	道路幅員の確認、申請書との整合	適 ・ 不適
		7	法 42 条 2 項道路の後退確認(道路境界線、塀、擁壁等)	適 ・ 不適 ・ 該当無
		8	法 43 条ただし書き許可条件との整合	適 ・ 不適 ・ 該当無
		9	道路に接する敷地の長さの確認	適 ・ 不適
		10	専用通路の確認(幅等)	適 ・ 不適 ・ 該当無
		11	敷地内通路の確認(有効幅員等)	適 ・ 不適 ・ 該当無
	容積率・建ぺい率 (法 52 条) (法 53 条)	12	敷地形状(敷地の形)及び建物形状の確認	適 ・ 不適
		13	間取りの確認(壁の位置、開口部の位置、形状の確認)	適 ・ 不適
		14	容積率、建ぺい率のチェック	適 ・ 不適
	建物の配置と高さ (法 56 条) (法 56 条の 2)	15	方位(真北)の確認	適 ・ 不適
		16	建物の最高の高さ、軒の高さの確認	適 ・ 不適
		17	配置の確認(道路、隣地境界からの離れ)	適 ・ 不適
		18	立面形状と申請図面の整合	適 ・ 不適
		19	斜線のチェック(北側斜線、道路斜線、隣地斜線)	適 ・ 不適
		20	天空率・日影のチェック	適 ・ 不適 ・ 該当無
	その他	21	建築協定等の内容確認等	適 ・ 不適 ・ 該当無

※ 裏面の構造関係チェックリストも記入して下さい。

※ 次ページと両面印刷して下さい。

特定工程までの工事監理の状況（中間検査チェックリスト）：RC・PC造用

確認を行った事項		照 合 内 容		照 合 結 果		
構造	支持地盤の種類・地耐力・杭	地 盤 杭	1	支持地盤の確認	適 ・ 不適	
			2	杭の仕様、配置、杭長及び支持力	適 ・ 不適 ・ 該当無	
			3	杭の偏心	変更 無 ・ 有	
	主要構造部及び主要構造部以外の構造耐力上主要な部分に用いる材料（接合材料を含む）の種類、品質、形状、寸法並びに、接合部分の形状、接合状況	一般事項		4	コンクリート及び鉄筋の規格	適 ・ 不適
				5	鉄筋の継手、定着長さの位置及び長さ並びに工法	適 ・ 不適
				6	柱、はり、壁及び床版の位置	適 ・ 不適
				7	鉄筋の配置、径、継手及び定着の方法	適 ・ 不適
				8	開口部や貫通孔の位置、形状、補強	適 ・ 不適
				9	確認図書との照合	変更 無 ・ 有
				基 礎 土 台		10
		11	基礎ばりの主筋の径、本数、配置、定着方法並びに継手の位置及び長さ			適 ・ 不適
		12	基礎ばりのあばら筋の径、配置及び形状			適 ・ 不適
		柱		13	柱の寸法、主筋の径、本数、配置及び出隅のかぎ状の折り曲げ形状並びに柱頭の鉄筋の位置	適 ・ 不適
				14	柱の帯筋の径、本数、配置及び形状	適 ・ 不適
				15	主筋折曲げ部の帯筋補強	適 ・ 不適
				16	帯筋のかぎ状の折り曲げ形状及び結束	適 ・ 不適
		ス ラ ブ		17	床版の寸法及び支持条件、鉄筋の径、本数及び配置	適 ・ 不適
				18	床の出入隅部の補強の状況及び階段部の配筋状況	適 ・ 不適 ・ 該当無
		梁		19	はりの寸法並びに主筋の径、本数及び配置	適 ・ 不適
				20	あばら筋の径、本数及び配置並びにかぎ状の折り曲げ形状及び緊結状況	適 ・ 不適
		壁		21	壁の寸法並びに鉄筋の径及び配置	適 ・ 不適
				22	目地（完全、部分）の位置及び形状並びに配筋状況	適 ・ 不適
				23	スリットの位置、形状	適 ・ 不適 ・ 該当無
		そ の 他 施 行 状 況		24	鉄筋の配筋の乱れ、たるみ等	適 ・ 不適
				25	型枠の寸法、かぶり厚支柱の締付清掃	適 ・ 不適
				26	型枠及び支柱の締付及び清掃状況	適 ・ 不適
				27	コンクリートの密実性の状況	適 ・ 不適
				28	コンクリートの調合及び圧縮強度、打設後の養生	適 ・ 不適
				30	型枠、支柱の存置期間	適 ・ 不適
				31	基礎、柱、はり、床版及び壁の出来型寸法	
				32	その他、構造耐力上必要な事項の検査、確認	適 ・ 不適 ・ 該当無
				33	()	
				報 告 事 項	法42条2項道路の後退について（今後の処置予定）	
不具合部分の処置、及びその部分の検査結果。未施工部分の処置。						
備 考						

建築基準法第 12 条第 5 項の規定に基づくによる報告書
 中間検査の申請に関する工事状況について (S・SRC造)

(あて先) 鎌倉市建築主事

今回中間検査を申請する建築物の特定工程までの工事については、適切に工事監理を行い建築基準関係規定について確認していますので報告します。

特定工程までの工事監理の状況 (中間検査チェックリスト): S・SRC造用

確認を行った事項		照 合 内 容		照 合 結 果
意匠	確認表示板等 (法 89 条)	1	確認表示板の掲出等	適 ・ 不適
	敷地の衛生 及び安全性 (法 19 条)	2	敷地の高低差の確認	適 ・ 不適
		3	がけに対する安全性	適 ・ 不適 ・ 該当無
		4	既設擁壁の安全性	適 ・ 不適 ・ 該当無
		5	新設擁壁の安全性	適 ・ 不適 ・ 該当無
	敷地と道路の関係 (法 42 条) (法 43 条)	6	道路幅員の確認、申請書との整合	適 ・ 不適
		7	法 42 条 2 項道路の後退確認 (道路境界線、塀、擁壁等)	適 ・ 不適 ・ 該当無
		8	法 43 条ただし書き許可条件との整合	適 ・ 不適 ・ 該当無
		9	道路に接する敷地の長さの確認	適 ・ 不適
		10	専用通路の確認 (幅等)	適 ・ 不適 ・ 該当無
		11	敷地内通路の確認 (有効幅員等)	適 ・ 不適 ・ 該当無
	容積率・建ぺい率 (法 52 条) (法 53 条)	12	敷地形状 (敷地の形) 及び建物形状の確認	適 ・ 不適
		13	間取りの確認 (壁の位置、開口部の位置、形状の確認)	適 ・ 不適
		14	容積率、建ぺい率のチェック	適 ・ 不適
	建物の配置と高さ (法 56 条) (法 56 条の 2)	15	方位 (真北) の確認	適 ・ 不適
		16	建物の最高の高さ、軒の高さの確認	適 ・ 不適
		17	配置の確認 (道路、隣地境界からの離れ)	適 ・ 不適
		18	立面形状と申請図面の整合	適 ・ 不適
		19	斜線のチェック (北側斜線、道路斜線、隣地斜線)	適 ・ 不適
	その他	20	天空率・日影のチェック	適 ・ 不適 ・ 該当無
		21	建築協定等の内容確認等	適 ・ 不適 ・ 該当無

※ 裏面の構造関係チェックリストも記入して下さい。

※ 次ページと両面印刷して下さい。

特定工程までの工事監理の状況（中間検査チェックリスト）：S・SRC造用

確認を行った事項		照 合 内 容		照 合 結 果	
構造	支持地盤の種類・地耐力・杭	地 盤 杭	1 支持地盤の確認	適 ・ 不適	
			2 杭の仕様、配置、杭長及び支持力	適 ・ 不適 ・ 該当無	
			3 杭の偏心	変更 無 ・ 有	
	主要構造部及び主要構造部以外の構造耐力上主要な部分に用いる材料（接合材料を含む）の種類、品質、形状、寸法並びに、接合部分の形状、接合状況	一般事項	4 コンクリート、鉄筋、鋼材、ボルト等の規格及び品質	適 ・ 不適	
			5 柱、はり、斜材（タンパッカル等）及び床版等の配置	適 ・ 不適	
			6 柱、はり、斜材（タンパッカル等）及び床版等の形状及び寸法	適 ・ 不適	
			7 溶接材料の規格と鋼材の組み合わせの適否	適 ・ 不適	
			8 突合せ継手の食い違い等の検査結果	適 ・ 不適	
			9 ボルト等の縁端距離及び高力ボルト摩擦接合部の摩擦面の処理方式	適 ・ 不適	
			10 外観検査及び内部欠陥等の検査結果	適 ・ 不適	
			11 柱及びはり等の開口部の補強の状況	適 ・ 不適 ・ 該当無	
			12 原寸検査	適 ・ 不適	
			13 確認図書との照合	変更 無 ・ 有	
			基礎 地中梁	14 基礎種別、配置、寸法	適 ・ 不適
				15 基礎等配筋の本数、径、間隔、定着	適 ・ 不適
				16 継手、圧接の位置、長さ、形状及び圧接の強度	適 ・ 不適
	柱 脚	共通	17 柱脚の構造方法	適 ・ 不適	
			18 大臣認定柱脚のチェックシート	適 ・ 不適 ・ 該当無	
		露出 形式	19 アンカボルトの配置、材質、径及び本数並びに二重ナットの高さ	適 ・ 不適	
			20 座金の仕様及びナットの戻り止め措置	適 ・ 不適	
			21 アンカボルトの定着長さ	適 ・ 不適	
			22 柱の最下端の断面積に対するアンカボルト全断面積の割合	適 ・ 不適	
			23 ベースプレートの厚さ、モルタル充填	適 ・ 不適	
			24 コンクリート投入孔の補修状況	適 ・ 不適	
		根巻 形式	25 アンカボルトの径、孔径及び縁端距離、緊結状況	適 ・ 不適	
			26 根巻き部分の高さ	適 ・ 不適	
			27 根巻き部分の立ち上がり主筋の本数及び配置	適 ・ 不適	
			28 立ち上がり主筋の定着長さ（根巻き部分及び基礎）	適 ・ 不適	
		埋込 形式	29 根巻き部分の帯筋（令第77条第2項及び第3項）	適 ・ 不適	
			30 スタッドボルトの径、本数及び配置並びに溶接状況	適 ・ 不適	
			31 柱の埋込長さ	適 ・ 不適	
			32 側柱及び隅柱のU字型補強筋等による補強の状況	適 ・ 不適	
			33 埋込部分の鉄骨のかぶり厚さ	適 ・ 不適	
	34 スタッドボルトの径、本数及び配置並びに溶接状況		適 ・ 不適		
	柱、梁 部材及び 仕口部 継手 接合部	35 ダイヤラムとフランジの位置	適 ・ 不適		
		36 継手及び仕口の種類（突合せ溶接、すみ肉溶接）	適 ・ 不適		
		37 突合せ継手の食い違い、開先角度、ルート面、ルート間隙	適 ・ 不適		
		38 すみ肉溶接のはだつき、脚長寸法	適 ・ 不適		
		39 アンダーカット、スラップ、エンドダブ、裏あて金	適 ・ 不適		
		40 スラッグ、スパッタの除去	適 ・ 不適		
		41 割れ等の構造耐力上支障のある欠陥	適 ・ 不適		
		42 超音波試験による検査	適 ・ 不適 ・ 該当無		
	高力ボルト	43 ボルトの本数、径、孔径、中心距離及び縁端距離	適 ・ 不適		

	接合部	44	マーキングのずれ	適 ・ 不適
		45	締付ボルト張力等の検査	適 ・ 不適
		46	ボルトの本数、添板数及び摩擦接合面、スライズPL板厚	適 ・ 不適
		47	本締（ピンテールの破断・トルクレンチ）の状況	適 ・ 不適
	鉛直ブレース	48	寸法、取付状態、緊張度	適 ・ 不適 ・ 該当無
		49	鉛直ブレースの溶接長、ボルトのはしあき、へりあき	適 ・ 不適 ・ 該当無
	床版	50	床構造の形式等の規格及び品質	適 ・ 不適
		51	デッキプレート等の規格及び品質	適 ・ 不適 ・ 該当無
		52	水平ブレースの溶接長、ボルトのはしあき、へりあき	適 ・ 不適 ・ 該当無
		53	頭付きスタッド等の施工状況及び検査結果	適 ・ 不適
	その他 施行状況	54	大臣認定床のチェックシートの確認	適 ・ 不適 ・ 該当無
		55	錆止め塗装	適 ・ 不適 ・ 該当無
		56	型枠の寸法、かぶり厚支柱の締付清掃	適 ・ 不適 ・ 該当無
57		型枠及び支柱の締付及び清掃状況	適 ・ 不適 ・ 該当無	
58		コンクリートの密実性の状況	適 ・ 不適 ・ 該当無	
59		コンクリートの調合及び圧縮強度、打設後の養生	適 ・ 不適 ・ 該当無	
60		型枠、支柱の存置期間	適 ・ 不適 ・ 該当無	
61	基礎、柱、はり、床版及び壁の出来型寸法	適 ・ 不適 ・ 該当無		
62	その他、構造耐力上必要な事項の検査、確認	適 ・ 不適 ・ 該当無		
63	()			
報告事項	法42条2項道路の後退について（今後の処置予定）			
	不具合部分の処置、及びその部分の検査結果。未施工部分の処置。			
	備考			

<施工終了部分について：RC・PC造及びS・SRC造 共通>

項 目	写真添付欄